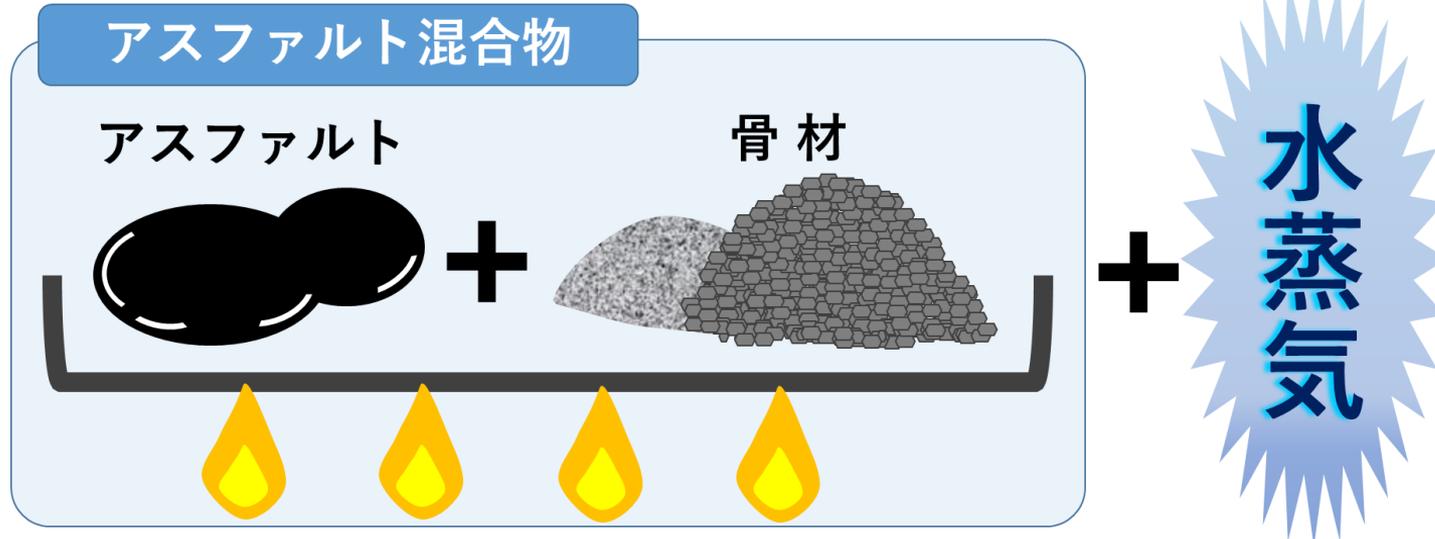


公共工事の低炭素化

- 都の公共工事において、CO₂排出量削減に寄与する低炭素（中温化）アスファルト混合物の導入を検討
- 全国で初めて国の審査機関が舗装材料として承認

低炭素アスファルトとは



**通常と比べ製造時の加熱温度を10～30℃下げ、
CO₂排出量を削減（-30℃の場合、-2.7（kg-CO₂/t））**

低炭素アスファルトの効果

年間CO₂排出削減量
(30℃低減した場合の推定)

=

約3,470 (t-CO₂)



※杉林約277ha (東京ディズニーランド
約5個分) が1年間に吸収するCO₂量



公共工事の低炭素化